

## 【1】新市場販路開拓事業

### 1. 収支決算額

○収入決算額:95,116,815円

(事業収入 15,258,057 円、市負担金 25,660,000 円、  
市受託事業収入 54,198,758 円)

○支出決算額:84,457,934円

### 2. 事業の成果

●受注促進・販路開拓支援事業では、県外企業訪問を中心に技術営業を行った結果、引合い件数が590件あり、うち44件(約7.5%)が成約につながった。

全体的な問い合わせの傾向は、表面処理や機械加工など要素技術単独の案件の割合が高かったが、コスト・納期・数量面などから成約に至らないケースが多かった。

●展示会出展事業では、最重点展示会である「機械要素技術展」の展示スペースと共同出展企業数を、前年度の約3倍に拡大した。その結果として、引合い件数135件、うち19件(約14%)が成約となり、金額にして約3,500万円の受注を獲得できた。

●アンテナショップ店舗での産地製品のPR他、近隣団地への出店やDMの配信及びイベント等を通じ、燕三条製品の販売や紹介、広く産地イメージの発信を行い、消費者の購買動向などの情報収集により販路拡大を行った。

●燕三条インターネットショップ運用事業では、掲載商品や特集ページの追加とともに、店舗紹介リーフレットの作成やプレゼント企画などでネットショップへの誘導を行った結果、アクセス数が増え売上増に繋がった。

### 3. 実施事業

#### (1)受注促進・販路開拓支援事業

(収入決算額:4,141,000円、支出決算額3,892,372円)

地域企業への新規受注促進のため、県外企業を中心に燕三条地域のものづくり技術力をPR。また、企業訪問によって得た引合い情報を地域企業に提供し、44件の成約につながった。

### ①引き合い件数

	受注斡旋(件)				引合 件数 小計	各種 相談
	成約	見積 検討中	対応企業 紹介	不成約		
H23年度	44	72	447	27	590	179
H22年度	37	49	422	10	518	140
H21年度	43	70	437	12	562	189

#### ◆成約の主な内訳

- 1)生活関連商品の製造(12件 27.3%)
- 2)工業製品の製造対応(8件 18.2%)
- 3)機械加工(6件 13.6%)
- 4)表面処理(5件 11.4%)
- 5)接合加工及び研磨(各4件 9%)
- 6)線材加工(2件 4.5%)など

#### 引合い全体の主な内訳

- 1)表面処理(103件 17.5%)
- 2)機械加工(86件 14.5%)
- 3)生活関連商品及び工業製品の製造対応(各58件 9.8%)など

#### ②企業との受発注打合せ件数

	地域内 (市内) 企業訪問	地域外 (県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室 打合せ	県外企業 来室 打合せ
H23年度	663	29	127	191	138
H22年度	501	27	89	160	158
H21年度	503	43	95	268	192

◆首都圏における受発注活動を効率的に進めるため、地元在住の有識者・大手企業出身者4名をアドバイザーとして委嘱し、企業訪問による引合い情報の提供や、展示会後のフォローアップなど販路開拓活動等を行った。

◆産業振興部登録企業約500社を対象に、最近の受注動向や技術・商品開発情報などをFAXで配信。  
(リサーチコア通信、全17回発行)

## (2)技術系展示会出展事業

(収入決算額:18,924,000 円、支出決算額 18,754,615 円)

全国各地で開催の展示会に地域企業と共同出展し、燕三条地域の特徴的な加工部品・新商品を展示PRし、会期中並びに会期後のフォローアップ活動により新規受注開拓を行った。

名称(会場)	開催期間 (共同出展数) [制約金額]	来場者数 (H22)[H21]	引合件数 (H22)[H21]	成約件数 (H22)[H21]
第 15 回機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	6/22-24 (25 社) [34,528 千円]	84,509 (84,353) [75,266]	135 (58) [45]	19 (4) [0]
第 14 回関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	10/5-7 (5 社) [9,805 千円]	32,106 (31,498) [31,373]	53 (106) [149]	12 (19) [9]
東京国際航空宇宙産業展 2011 (東京ビッグサイト)	10/26-28 (4 社) [800 千円]	23,373 (11,002) [21,821]	26 (28) [42]	1 (0) [0]
テクニカルショー ヨコハマ 2012 (パシフィコ横浜)	H24.2/1-3 (5 社) [10,030 千円]	30,912 (30,176) [28,693]	40 (34) [68]	2 (1) [-]

(※引合い件数:試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計)

## (3)商品系展示会出展事業

(収入決算額:4,925,000 円、支出決算額 4,577,069 円)

名称(会場)	開催期間 (共同出展数)	来場者数 (H22)[H21]	概要
グッドデザインエキスポ展 (東京ビッグサイト)	8/26-28 (11 社)	42,359 名 (44,325 名) [43,321 名]	グッドデザイン賞(G マーク)二次審査対象品の一般公開
新潟 DNA「リ・デザインエキシビジョン 2012」 (メッセピア・燕三条wing)	2/15-3/6	投票者数: 485 名 投票数: 2,230 票	地域商品2点をテーマにしたデザインコンペを開催。参加デザイナー:26 名 デザイン提案:50 点

## (3)農商工連携産地製品販売促進事業

(収入決算額:57,928,057 円、支出決算額 48,330,056 円)

店舗名	売上金額	収入金額
えちご燕物産館両国店	17,468,800 円	5,429,114 円
えちご燕物産館町田店	21,760,270 円	7,489,022 円

## 【自主イベント等の内容】

店舗	イベント名称	開催期間
両国	開店2周年記念フェア	10/13-15(3 日間)
町田	新米フェア	10/21-23(3 日間)
町田	開店2周年記念フェア	H24.3/9-11(3 日間)
町田	鶴川団地出張販売	12/10-11(2 日間)

## (4)燕三条インターネットショップ運用事業

(収入決算額:9,198,758 円、支出決算額 8,903,822 円)

	注文件数	売上金額
H23 年度	627 件	4,705,910 円
H22 年度	208 件	1,513,290 円

## 【2】企業開発力強化事業

## 1. 収支決算額

○収入決算額:19,674,250円

(事業収入 3,744,250 円、市負担金 13,219,000 円、  
その他補助金 600,000 円、繰越金 2,111,000 円)

○支出決算額:17,385,662円

## 2. 事業の成果

●燕三条地域企業の試作開発力を強化するため、小ロット品や試作品をネットワークで対応する「小ロット・試作対応強化プロジェクト」を立ち上げた。

当センターの試験設備を活用、材料分析・形状測定が短期間で可能なことを特徴として、企業訪問や大学との連携で研究設備・治具試作などを介したニーズ掘り起こしのため、新潟大学内でミニ展示会を開催し、プロジェクトの取組みをPRした。

●(社)砥粒加工学会の加工技術専門委員会との共催により、当地域で重要なバリ取り仕上げ加工技術を主体とした展示・交流会を開催。地域外企業や大学等とのネットワークづくりを推進した。

### 3. 実施事業

#### (1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト

(収入決算額:991,000 円、支出決算額 925,475 円)

小ロット品や試作分野での受注開拓を目的に、地域企業間の試作ネットワークシステムを構築。大学で使用する研究設備の試作や試験片製作などの需要を掘り起こすため、参加企業の得意技術とセンター所有機器の活用方法等をまとめ、新潟大学内でミニ展示会を開催した。

◆期間(回数):H23.6~H24.3(6回実施)

◆指導者:ビジネスコーディネーター 小林 貞夫 氏(中小企業診断士)

◆参加者:29名(28社)

#### (2) 産学連携共同研究開発事業

(収入決算額:4,061,000 円、支出決算額 3,768,088 円)

##### ① 研磨技術に関する研究会

「バリ取り・仕上げ加工技術展 in 燕三条 2011」と共同で「燕三条ものづくり連携フォーラム」を開催。当地域企業の技術者を中心に県内外から 721 名の来場があり、各ブースで活発な情報交換や技術相談等を行った。また研磨技術のセミナーを行い、延べ 150 名が聴講し、各企業の課題解決や技術開発の参考とした。

◆期間(出展者数): H23.9.29~30(46社・団体)

◆相談件数:約 200 件(うち成約件数 3 件)

◆指導者:関西大学名誉教授 北嶋 弘一 先生

##### ② 接合技術に関する研究会

本年度は、溶接補修など現場のノウハウ、並びにディスクレーザ溶接機など高性能な溶接技術に関する情報提供と、薄板溶接における変形機構の解明及び対策指針についての共同研究を行い、参加企業に技術データの提供を行った。

◆期間(回数):H23.4~H24.3(5回実施)

◆指導者:長岡技術科学大学 機械系 准教授 宮下 幸雄 先生

◆参加者:54名(43社)

##### ③ ソフトエネルギー技術研究会

太陽光発電、電力貯蔵などの分散型発電機器や、周辺技術等の調査研究を中心に進めており、本年度は東日本大震災後の太陽電池関連の現状と課題、メガソーラー発電所の見学調査を行い、当地域で参入可能な技術分野についての方向付けを進めた。

◆期間(回数):H23.4~H24.3(3回実施)

◆指導者:長岡工業高等専門学校 電気電子システム工学科  
教授 片桐 裕則 先生

◆参加者:25名(23社)

#### (3) 航空機産業参入研究会

(収入決算額:4,359,750 円、支出決算額 3,339,975 円)

航空分野へ参入する足がかりとして、大手エアラインのシンクタンクと共同で機体メンテナンス時に大量発生するスクラップ部品を用いた、インテリア及びアクセサリ等の製造販売を開始した。更にこれをきっかけとした整備及び運行部門への参入を目指して活動した。

◆期間(回数) H23.4~H24.3(5回実施)

◆指導者:(株)ATR ヤマト 代表取締役 吉田 宗玄 氏

◆参加者:22名(20社)

#### (4) 知的所有権相談事業

(収入決算額:1,003,000 円、支出決算額 983,280 円)

中小企業における製品開発には知財戦略が必須である。当地域の産業に精通した弁理士等による特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため個別相談会を開催し、意匠や実用新案などの出願 5 件、登録 6 件の実績を得た。

◆指導者:ジーベック国際特許事務所 所長・弁理士 清水 善廣 氏

◆相談件数:40件(21社)

#### (5) 専門家派遣・技術相談事業

(収入決算額:3,023,000 円、支出決算額 2,892,677 円)

地域企業の商品開発、営業技術、生産管理などの課題解決に向け、企業の要請により専門家を直接企業に派遣した。またセンター職員による技術相談事業では、企業からの相談に対し 48 時間以内で課題解決策を提案した。

◆指導回数:37件(17社)、指導者数:17名

また、技術高度化設備導入事業では、国庫補助金を活用し「高精度表面超微細形状測定機器(3D測定レーザー顕微鏡)」を導入した。本導入機器により刃先先端部の狭くて急峻な角度のナノメーターオーダーの形状評価や、研磨面などに対するトレーサビリティが確保された3次元粗さ評価を行う

ことができる。企業への機器利用促進や研究会などでの有効活用を図っていく。

#### 【機械設備利用状況】

名 称	H23 年度	H22 年度	H21 年度
多関節型 3 次元デジタイザー	16	8	—
蛍光X線分析装置	25	26	50
レーザーマーカ	64	25	16
走査型電子顕微鏡	21	30	27
高速度デジタルビデオカメラ	6	4	0
デジタルマイクロスコープ	11	15	15
万能塑性加工試験機	13	9	3
HIP 装置(熱間等方圧加圧装置)	101	78	49
電気炉、雰囲気熱処理炉	3	3	2
3 次元デジタイジング装置	11	9	16
3 次元デザイン CAD システム	19	11	10
FEM シミュレーションシステム	1	0	1
合 計	291	218	189

#### (6)デザイン開発支援事業

(収入決算額:3,163,000 円、支出決算額 2,371,539 円)

##### ①商品企画・デザイン個別相談:33 件 38 回

(内、アドバイザーによる相談会 9 件 13 回)

##### ②つばめデザイン研究会・三条デザイン研究会の事務対応

##### ③Gマーク取得支援説明会の開催

◆開催日:平成 23 年 6 月 3 日(金)

◆講 師:公益財団法人日本デザイン振興会 事業部課長 浅賀 武 氏

◆参加者:24 名

##### ④Gマーク二次審査搬入代行:11 社 15 点(東京ビッグサイト)

##### ⑤Gマーク授賞式(県内)・フォーラム開催

◆開催日:平成 23 年 12 月 7 日(水)

◆特別講演:(株)エムテド 代表取締役 田子 學 氏

◆コーディネータ:長岡造形大学名誉教授 松丸 武 氏

◆パネラー:(株)エムテド 代表取締役 田子 學 氏

(株)相田合同工場 代表取締役社長 相田 聡 氏

(株)スノーピーク 代表取締役社長 山井 太 氏

◆参加者:33 名

⑥県内デザインネットワーク活用:地域商品をテーマにしたデザインコンペを開催した。

⑦デザインギャラリー貸出し:4 件

#### (7)提案型商品開発研究会

(収入決算額:3,073,500 円、支出決算額 3,104,628 円)

◆概要:自社テーマを題材に、生活者の視点に立った商品開発手法を学ぶワークショップを開催

◆期間(回数):前期 7/7~10/13(全 8 回)、  
後期 H24.1/28~3/16(全 8 回)

◆指導者:(株)クルー 代表取締役 馬場 了 氏、  
峯特許事務所 弁理士 峯 唯夫 氏

◆参加者:前期:3 名(1 社)、後期:18 名(7 社)

### 【3】燕三条ブランド推進事業

#### 1. 収支決算額

○収入決算額:20,891,000 円

(県補助金 880,000 円、市負担金 16,404,000 円、繰越金 3,607,000 円)

○支出決算額:18,692,659 円

#### 2. 事業の成果

●燕三条プライドプロジェクトの各グループが中心となって進めている、ものづくりや産業観光などの活動を支援し、燕三条ブランド事業の推進に努めた。

●「男のキッチンツール」アイテムとして鉄板焼き用のナイフとフォークの試作品を完成させた。

●国内外への展示会へ出展し、燕三条ブランドのPRや販路開拓に努めた。

●三条まちあるき連絡協議会主催の“燕三条ものづくりの心に出会う「まちあるき」”をテーマとした様々な体験、観賞、食などのプログラムを集めたイベントの企画、調整に参画した。

### 3.実施事業

#### (1)委員会等運営事業

(収入決算額:2,033,000 円、支出決算額 1,834,839 円)

##### ①燕三条ブランド検討委員会の開催(4 回開催)

燕三条地域の商工会議所、商工会、観光協会などの代表や役員等で委員会を組織し、燕三条ブランドの事業案及びブランドマーク使用申請、製品認証について検討・承認を行った。

##### ②燕三条プライドプロジェクト会議の開催

プロジェクト会議の各グループリーダー等が中心となって燕三条ブランド事業推進に向けて協議を行った。

- ◆プロダクトグループ 5回
- ◆レストラングループ 12回
- ◆ツーリズムグループ 19回
- ◆プロモーショングループ 5回

#### (2)広報活動事業

(収入決算額:2,327,000 円、支出決算額 2,162,059 円)

##### ①燕三条観光パンフレット作成

燕三条のものづくり及び観光情報を発信するため、三条市と燕市の統合版観光パンフレットを作成し、地場産センター及び燕三条 Wing に配置したほか、両市へ配布した。

##### ②駅から観タクン印刷費負担金

燕三条地域の主要観光スポットをタクシーで巡るJRの旅行商品を三条市と燕市と合同で検討し、5コース開発した。

##### ③講演会リーフレットの作成

「燕三条の近代水道施設講演会・見学会」の開催

- ◆主 催 ツーリズムグループ
- ◆開催日 平成 23 年 6 月 4 日(土)
- ◆会 場 (講演会)三条東公民館 (見学会)三条市大崎浄水場
- ◆参加者数 (講演会)29 名 (見学会)23 名
- ◆講 師 長岡造形大学 教授 平山育男 先生

##### ④燕三条の農産品 PR

- 「料理王国100選 2012」に応募し、2アイテムが選出された。
- ◆シャインマスカットのドライフルーツ、ル・レクチェ

##### ⑤燕三条エフエム放送によるブランド PR や地域情報の発信

ブランド事業の活動及び情報を発信するため、燕三条エフエム放送(株)の番組枠を取得し、燕三条ブランド通信を放送した。

#### (3)産業観光事業

(収入決算額:2,660,000 円、支出決算額 2,559,185 円)

##### ①燕三条観光ホームページ「夢創紀行」による観光情報の発信

燕市及び三条市、近隣市町村の観光情報を季節毎に集約し、ホームページに掲載した。

##### ②工場見学の受入れ先の発掘

新規に工場見学受入れ企業 8 社を発掘(合計 23 社)し、燕三条観光ホームページ「夢創紀行」に掲載した。

##### ③観光、まちあるきルートの開発

燕三条 Wing に訪れた観光客向けの所要時間別観光モデルコースを考案した。また、ツーリズムグループで、まちあるきイベントに向けた試しあるきをコース主催者と共同で実施した。

##### ④燕三条 Wing の情報発信機能の充実

燕三条 Wing 及び燕三条地域で開催されるイベント情報をプロジェクトスクリーンにて上映し、乗降客等に PR を行った。

##### ⑤燕三条まちあるき

三条まちあるき連絡協議会主催の“燕三条ものづくりの心に出会う「まちあるき」”をテーマとした様々な体験、観賞、食などのプログラムを集めたイベントの企画、調整に参画した。

###### 1) 2011 春

- ◆開催期間 平成 23 年 3 月 5 日(金)-5 月 29 日(日)
- ◆開催数 15 コース/23 回
- ◆参加延人数 475 人

###### 2) 2011 秋

- ◆開催期間 平成 23 年 9 月 25 日(日)-11 月 26 日(土)
- ◆開催数 19 コース/29 回
- ◆参加延人数 336 人

#### (4)展示会出展事業

(収入決算額:2,153,000 円、支出決算額 2,110,144 円)

レストラングループの地名山野菜プロジェクトが主体となって、

FOODEXJAPAN2012 第 37 回国際食品・試飲展に出展し、平成 24 年度に実施する朝カフェプロジェクト及び燕三条産農産物の PR を行った。

- ◆ 期 間 平成 24 年 3 月 6 日(火)-9 日(金)
- ◆ 会 場 幕張メッセ
- ◆ 来場者数 73,834 人
- ◆ 引き合件数 15 件 (商談中1件)

#### (5) JAPAN ブランド事業

(収入決算額:11,718,000 円、支出決算額 9,986,432 円)

燕三条ブランド検討委員会で認証した製品やプロダクトグループで開発した鉄板焼きツールの PR、販路拡大のため国内外の展示会に出展した。

##### ①東京インターナショナル・ギフト・ショー 春 2012

- ◆ 期 間 平成 24 年 2 月 8 日(火)-10 日(金)
- ◆ 会 場 東京ビッグサイト
- ◆ 来場者数 196,673 人
- ◆ 引き合件数 64 件 (商談中 2 件)
- ◆ 出展ブースのコンセプト

展示ブース内にガーデンスペースやダイニング・キッチンスペースを設け、燕三条製品を展示して使用シーンを表現した。

##### ②アンビエンテ・メッセ・フランクフルト 2012

- ◆ 期 間 平成 24 年 2 月 10 日(金)-14 日(火)
- ◆ 会 場 ドイツ フランクフルト国際見本市会場
- ◆ 来場者数 138,058 人
- ◆ 引き合件数 61 件 (商談中1件)
- ◆ 出展ブースのコンセプト

燕三条ブランドの基本コンセプトである「オーガニックなライフスタイル」に合致した燕三条製品を展示した。

### 【4】 企業人材育成事業

#### 1. 収支決算額

- 収入決算額:16, 853, 500円  
(事業収入 5,878,500 円、市負担金 10,975,000 円)
- 支出決算額:14, 216, 024円

#### 2. 事業の成果

●ものづくり技術営業力強化事業では、地域企業の提案型技術営業力の強化を図るため、専門家の指導により参加企業が自社の強み・弱み等を分析し、新規受注獲得のための知的資産報告書をまとめた。その実践の場として、ニーズを有する成長分野企業を招へいし、受注獲得に向け顧客から興味を持っていただけるプレゼンテーション能力向上のための研修を行った。

●燕三条ものづくり大学（技術研修講座）では、当地域企業で必要となる「金属材料」、「図面の見方」、「機械設計」、「プレス加工」、「溶接」、「機械加工」、「表面処理」など、基礎的技術の習得を図るための技術講座を開講し、募集定員 130 名に対し 196 名の参加があった。

●技能情報高度化技術研究会では、当地域の強みである刃物の切れ刃について、ベテラン職人の技能を今年度導入のレーザー顕微鏡で数値化し、切れ味との関係性を評価し技能伝承情報を得た。

### 3. 実施事業

#### (1) ものづくり技術営業力強化塾

(収入決算額:996,000 円、支出決算額 1,141,440 円)

自社の特徴的強みを分析・認識することにより差別化を図り、提案型技術営業力の強化を目的とした実践的講習会を開催。各企業が自社の強み・弱みを分析し、知的資産報告書をまとめニーズ・シーズマッチング交流会により、技術営業戦略の強化を進めた。

##### ◆期間(回数):

H23.5～H24.3(計 6 回:座学・演習 4 回、先進企業の見学会 1 回、ニーズ・シーズマッチング交流会 1 回)

##### ◆指導者:

コンサルリンク(株) 代表取締役 七澤 教一氏(中小企業診断士)

##### ◆参加者:10 名(10 社)

#### (2)燕三条ものづくり大学(技術研修講座)

(収入決算額:3,575,000 円、支出決算額 2,386,612 円)

##### ①技術研修講座の開催

地域企業の製造・開発部門において必要となる金属材料、機械設計、プレス加工、溶接技術など基礎的技術の習得を図るための講習会を開催し、地域企業の技術力向上を図った。

研修講座名	期間 (時間×回数)	定員 (名)	実績 (名)
金属材料基礎講座	5/16-8/4 (2h×12回)	20	29
図面の見方・描き方入門講座	8/17-9/26 (2h×12回)	20	33
機械設計および力学基礎講座	5/19-8/18 (2h×12回)	15	13
プレス加工集中講座	H24.1/27-2/21 (3h×4回)	15	31
溶接技術集中講座	7/15-7/19 (3h×3回)	10	24
機械加工技術集中講座	8/19-9/1 (3h×4回)	10	15
表面処理技術集中講座	11/28-12/12 (3h×3回)	10	19
電気・制御技術集中講座	9/1-9/13 (3h×3回)	10	9
知財活用技術講座	H24.3/13-3/22 (3h×3回)	10	15
課題解決能力強化講習会	H24.2/28-3/7 (3h×3回)	10	8
	合計	130	196

②雇用調整助成金対象教育訓練セミナーの開催

景気回復後の製造に役立てるため、燕商工会議所、三条商工会議所との共同で QCD の中で現場従業員が最も重要な品質管理に着目した関連講習会を開催した。

- ◆期間(回数):7/8・7/15・7/22 (全3回)
- ◆講師:元東芝ホームテクノ(株) 高山 紘一 氏
- ◆参加者:延べ293名(37社)

(3)技能情報高度化技術研究会

(収入決算額:589,000円、支出決算額527,863円)

職人技といわれる技能について視点を変えて数値化を検討し、技能伝承への寄与を検討する研究会。今年度は刃物の刃先形状と切れ味の関

係を取り上げ、刃先形状を高精度レーザー顕微鏡により評価し、刃先形状(刃線粗さ、摩耗状態など)の変化と切断力や切れ味との関係について調査研究を進め、企業に技術情報の提供を行った。

- ◆期間(回数):H23.11~H24.3(全3回)
- ◆指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 柳 和久 先生
- ◆参加者:22名(17社)

(4) 企業向けIT関連支援事業

(収入決算額:9,176,500円、支出決算額8,029,565円)

企業においてITを有効活用できる人材を育成するため、企業向けのIT講座を開催した。また、最新の企業支援情報をホームページ・メールマガジン(月2回)で発信し、あわせて企業のIT関連の課題解決に向けた相談業務を実施した。

①企業向けパソコン講座の開催

研修講座名	期間(時間×回数)	実績/定員
初心者のためのネットショップ <sup>o</sup> 開店セミナー	5/17-5/19(2h×2回)	18/20人
Power Point 基礎講座	6/6-6/10(2h×3回)	17/20人
Excelで行う経営管理分析講座(生産編)	7/5-7/21(2h×6回)	11/20人
仕事に活かす!ツイッター入門講座	8/18-8/25(2h×3回)	13/20人
仕事に活かす!Facebook 基礎講座	10/11-10/21(2h×4回)	7/20人
ホームページ・ビルダー講座	11/7-11/24(2h×6回)	7/20人
動画編集基礎講座	12/5-12/15(2h×4回)	7/20人
Word & Excelビジネス実務講座	H24.2/28-3/16(2h×6回)	11/20人
合計	34回	91/160人

②情報関連機器の貸出

貸出機器名	件数	利用料金	備考
パソコン	11件	558,500円	情報研修室、貸出し用PC
プロジェクタ他	9件	48,000円	

## ③ビジネス情報等の提供

センターHPから企業向けの支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

◆ビジネス情報掲載件数 378 件

## ④メールマガジンの発行

◆毎月 2 回 年間 24 回配信 ◆掲載情報件数 289 件

◆3 月末メルマガ配信登録者数 587 件

## ⑤IT サポート支援

◆相談、支援申込み事業所等 16 件 ・相談、支援回数 27 回

## ⑥研修・教育用ビデオテープの貸出し

◆貸出し件数 34 件 ◆貸出し本数 132 本

## ⑦書籍・資料・文献等の閲覧

各種技術・情報等に関する図書・文献を収集し、資料室に整理し閲覧に供した。

## ⑧三条市・燕市兼用の産業カレンダーの発行

A3 サイズ 3,500 枚、カードサイズ 5,500 枚を作成し頒布した。

## (5)デザインマネジメント力向上セミナー

(収入決算額:2,517,000 円、支出決算額 2,130,544 円)

## ①デザイン経営セミナーの開催

## 【前期】

◆概要:企業後継者や経営管理者を対象としたデザインマネジメント勉強会を開催。

◆期間(回数):7/7-8/11(全 5 回)

◆講師:(株)AKAISHI 代表取締役 赤石 文男 氏  
 (株)山忠 代表取締役社長 中林 功一 氏  
 (株)玉川堂 代表取締役 玉川 基行 氏  
 三恵工業(株) 開発部長 安田 府佐雄 氏  
 (株)コボ 代表取締役社長 山村 真一 氏

◆参加者:4 名(2 社)

## 【後期】

◆概要:デザインを活用している企業を訪問し、各社の経営戦略等について意見交換。

◆期間(回数):11/9・11/29・12/14(全 3 回)

◆訪問先:1)伊那食品工業(株) 2)麒麟山酒造(株) 3)㈱諏訪田製作所

◆参加者:1)22 名(19 社) 2)16 名(14 社) 3)30 名(27 社)

## ②新分野進出に向けた商品開発セミナーの開催

◆テーマ:これからのものづくりを考える

～日本型オープンイノベーションについて～

◆開催日:平成 23 年 6 月 3 日(金)

◆講師:(株)クルー 代表取締役 馬場 了 氏

◆参加者:24 名(16 社)

## 【5】需要開拓事業

## 1. 収支決算額

○収入決算額:114, 947, 904円

(県補助金 1,544,798 円、事業収入 113,403,106 円)

○支出決算額:33, 905, 061円

## 2. 事業の成果

- 展示・即売事業では、消費者ニーズに合わせた市場性のある販売品目の品揃え及び地場産品の良さを、自主イベントの開催や各種イベントへの積極的な参加を通じ、県内外の消費者に PR することで地場産品の販路拡大に努めた。
- 誘客宣伝では地域観光資源を生かした企画立案を行うと共に、首都圏を含めた近隣地域への積極的な誘客宣伝活動を行った。
- 燕三条駅観光物産センター事業では、ミニイベントを定期的で開催し、店舗PRを行い来館者数及び売上が増加し、燕三条のイメージアップに貢献した。
- 買換需要創出事業(包丁・鍋・園芸鋏の下取り)では、良質な地元製品の販売促進を図るとともに、地域生活者に対し地場産品の再認識を促した。

## 3. 実施事業

## (1)展示・即売事業

(収入決算額 95,248,348 円、支出決算額 20,451,938 円)

①展示: 340小間 収入 7,210,000 円

②即売: 売上金額(233,812,487 円) 収入 89,941,144 円

【自主イベント等の内容】

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	5/1-5(5日間)	約 18,350 人
お盆フェア	8/13-16(4日間)	約 16,460 人
年末刃物特価市	12/2-4(3日間)	約 12,463 人
観光バス昼食・立寄	通年	約 1,113 台

(2)燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額 14,437,848 円、支出決算額 10,363,525 円)

- ①展示: 156小間 収入 2,316,000 円  
 ②即売: 売上金額(34,308,704 円) 収入 12,032,384 円

(3)地場製品買換需要創出事業

(収入決算額:5,261,708 円、支出決算額 3,089,598 円)

場所	期間	包丁・鍋	園芸鉢
えちご燕物産館町田店	10/21-23(3日間)	194	62
地場産センター	12/2-4(3日間)	1,601	368
	合計	1,795	430

【6】収益事業

1. 収支決算額

- 収入決算額:130,064,930円  
 (事業収入 126,525,930 円 繰越金 3,539,000 円)  
 ○支出決算額68,927,350円)

2. 事業の成果

- 他地域の優れた地場産品や新潟をイメージする特産品を扱うことにより、一般消費者が来場しやすい場を提供し、多くの集客を図ることで燕三条製品の販路拡大に努めた。
- 貸館事業では、地域内における深耕開拓・新規開拓に向けた訪問による営業活動を行うと共に、地域外の新規顧客開拓についてはDM発送を行い利用促進を図った。また、映像を使つての講習会等については、マルチメディアホールの利便性の良さを強調し、同ホールを使用して頂けるように誘導PRを行った。

3. 実施事業

(1)他地域連携販売事業

(収入決算額 4,664,339 円、支出決算額 2,117,023 円)

地域外取扱商品販売金額	10,100,550 円
イベント等商品販売金額	4,648,053 円

(2)貸館事業

(収入決算額 64,510,046 円、支出決算額 7,303,287 円)

【会場利用状況】

- ◆施設利用者数:166,357 名(前年度 169,766 名)
- ◆設利用状況(金額・利用率)

施設名	23年度	22年度
メッセピア	46,811,346 円	46,672,864 円
1F:多目的大ホール	24.6%	24.6%
3F:中会議室	42.0%	33.6%
4F:大会議室	41.0%	39.0%
4F:特別会議室	7.5%	7.9%
4F:小会議室(和室)	27.6%	30.1%
5F:総合研修室	43.6%	42.7%
5F:ミーティングルーム	49.7%	48.0%
リサーチコア	17,296,200 円	14,027,350 円
6F:研修室	29.7%	28.4%
7F:マルチメディアホール	32.8%	25.3%

(3)レストラン運営事業

(収入決算額 60,890,545 円、支出決算額 59,507,040 円)

レストラン事業では震災後の影響で、貸館関係の売上、観光バス昼食売上のキャンセル及びパーティ売上が減少したことが全体売上減の要因となった。

しかし、燕三条地域を中心とする県内農産物を取り入れたメニューのじばさんランチが好評で、レストラン内での売上は 200 万円の増加となった。

レストラン収入決算額の推移

年度	収入決算額
平成 23 年度	57,351,545 円
平成 22 年度	59,355,145 円
平成 21 年度	62,182,969 円